

追跡 ～どうなった あの質問～

平成26年12月、平成27年3月の質問を追跡した

平成26年12月 定例会

質問

さらなる防災、減災対策を

命を守る耐震シェルター等にも補助金制度を導入しては。

答弁

見直し予定

新たに耐震シェルターの有用性を位置づけ、補助制度についても研究・検討する。

どうなった

補助金制度が新設された

平成28年度から、民間木造住宅耐震事業で、木造住宅耐震シェルター整備費補助金制度が実施されることになった。

平成27年3月 定例会

質問

タウンバスの対応は

タウンバス運行について、利用者より様々な意見があるが、どのように対応するのか。

答弁

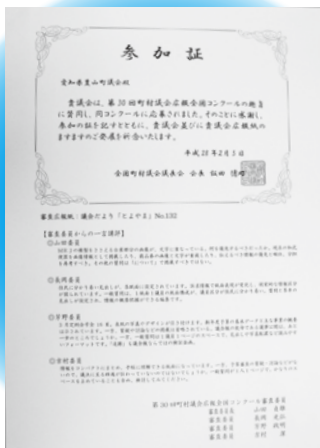
地域公共交通網形成計画を推進する

MRJの生産、整備に伴いビジネスや見学客の増加も見込まれ、将来的には増車等が必要と考える。

どうなった

タウンバスの増車はない

タウンバスについて増車等されないが、平成29年3月の1か月間、市営バス黒川から北部市場行きを空港まで延伸して運行実験を行う。



厳しい評価と誉め言葉 2回目の議会広報コンクール参加

平成26年に引き続き、27年度も、議会広報コンクールに応募した。4人の審査委員からは、厳しい評価あり、誉め言葉あり。2委員は、各紙面の見出しや写真配置が、分かりやすい、特に一般質問は1紙面1議員の構成が住民に分かりやすいと評価した。

一方で議会広報の使命である議事公開は、あと一步。予算審査の質疑・討論がないので、議決に至る経過が伝わっていないのではないかと、一般質問が1人1ページでかなりのスペースを占めていることも含め検討を、とのアドバイスもあった。他にも様々なご指摘を頂いた。これからも努力を重ねたい。